下水道整備計画（Ⅲ）【モロッコ】

施策所管局課 国別開発協力第三課

評価年月日 令和5年4月

1 案件概要	
(1) 供与国名	モロッコ王国
(2) 案件名	下水道整備計画（Ⅲ）
(3) 目的・事業内容 *閣議決定日、供与条件などを 含む	<p>モロッコの地方9都市を対象に、下水処理場及び下水管渠の新設・拡張・改修を行うことにより、下水処理能力の向上及び下水処理の過程で発生する温室効果ガス（GHG）の排出削減を図り、もってモロッコの衛生環境の改善、水資源の確保・有効利用、並びに気候変動の緩和に寄与するものである。</p> <p>案件の内容</p> <ul style="list-style-type: none"> 下水処理場等の拡張・改修、下水管渠等の新設・拡張・改修、メタンガス回収措置等の導入、水質検査関連施設等整備 コンサルティング・サービス <p>ア 閣議決定日：平成24年4月27日 イ 供与限度額：107.90億円 ウ 金利：0.3%（コンサルティング・サービスについては0.01%） エ 償還（据置）期間：40年（10年） オ 調達条件：一般アンタイト</p>
2 事業の評価	
(1) 経緯・現状	<p>ア 社会ニーズの現状</p> <p>モロッコでは、下水道整備事業としてすでに2005年及び2007年に2回円借款を供与しており、3回目となる本事業計画当初、モロッコでは上水普及率の向上（都市100%、地方87%）によって全国的に下水量が急増している中、既存下水処理施設の処理能力不足や老朽化等により、下水処理能力の低下が危惧されており、下水道の整備が喫緊の課題となっていた。また、本事業が対象とする地方都市では、大都市圏と比較して下水道への接続率が低く、衛生問題が深刻であることから、地方の中小都市における下水道整備が急務になっていた。</p> <p>現在においても、地方都市の下水道への接続率はモロッコ政府にとって重要な課題であり、下水道施設整備が引き続き急務であることから、現在も本事業に関する社会的ニーズがある。</p> <p>イ 事業遅延に関する経緯・現状</p> <p>4都市の下水処理施設は完工し、残り5都市の下水処理施設についても完工に向けて工事が進められている。事業遅延の主要な要因は、①モロッコ政府内での調整事項である地方自治体の事業費一部負担にかかる合意取り付けの遅延、②新型コロナウイルス対策のロックダウン等の影響、③用地取得の遅れ等。</p> <p>これらの現状として、①地方自治体からの合意取り付け済み、②新型コロナウイルス対策のロックダウンも終了、③用地取得等の遅延も解決済みであり、主要な遅延要因は解消していることから、順調に工事が進められている。</p>
(2) 今後の対応方針	<p>本件に関する社会的ニーズが引き続きあり、事業完成後は当初予定どおりの効果が見込まれる。また、事業の進捗を妨げていた要因は解決していることから、引き続き支援を継続する。</p>

3 政策評価を行う過程において使用した資料等

- ・交換公文
- ・[外務省の約束状況に関する資料及び案件概要](#)
- ・[国際協力機構の案件検索](#)
- ・[国際協力機構の事業事前評価表](#)
- ・その他国際協力機構から提出された資料